

ごまがわら

広報

平成8年



シンボルマーク

1.15 No.847

人口と世帯

1月1日現在 () 内は前回比、男23,894(+5) 女26,479(+1) 計50,373(+6) 世帯17,264(+7)



威風堂々の出初め式

1月5日、市消防団の出初め式が市内一ツ谷で510名の団員と38台のポンプ車が参加して行われました。

団員たちは、佐々木市長から服装と車両の点検を受けたあと、分列行進で士気を高めました。

〔災害に備えて日頃の火の用心〕



五所川原市 ふるさと大賞表彰式



今年で三回目を数える五所川原市ふるさと大賞表彰式が一月四日、市長公室で行われ、神山財産区議会（松野繁春議長）が受賞しました。この賞は、地域の特性を生かし、個性豊かで魅力あふれるふるさとづくりを進め、市の活性化に著しく貢献のあった個人又は団体に対して表彰を行うものです。

受賞団体

神山財産区議会

（松野繁春議長）

功績

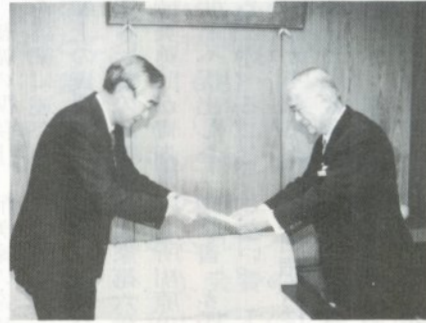
神山財産区では昭和三十二年五月二十九日、初代市長外崎千代吉氏の神山地区開発構想に賛同し、当時の財産区議会（長尾豊三郎議長）が、全会一致で英断をもって自らが所有する山林（神山字殊ノ峰地区一帯十七ヘクタール余）を市に寄附され、今では、四季折々の野草・野鳥に恵まれ、秀峰岩木山が眺望できる「津軽フラワーセンター」誕生に大きく貢献されました。

公園を訪れる人が「曲水の館」に佇み、気宇壮大な気分浸って日本一の津軽富士を仰ぎ見れるのも市の観光開発の礎として貴重な財産を寄附されたことによるものであり、市の活性化に著しい功績がありました。

増田桓一氏が五所川原市 美術館建設促進期成会へ寄附

十二月二十八日、増田病院理事長の増田桓一氏が初代名誉市民となられたことを記念して、美術館建設のための資金として役立ててほしいと五所川原市美術館建設促進期成会へ六十万円の寄附をされました。

美術館建設のための寄附には代理として長男の尚紀氏が市長室を訪れ、佐々木市長に手渡されました。



甲冑と仏像を寄贈された 阿部育也氏に紺綬褒章

当市の教育委員長を務める阿部育也氏（市内羽野木沢、六十一歳）に内閣総理大臣から紺綬褒章が贈られました。

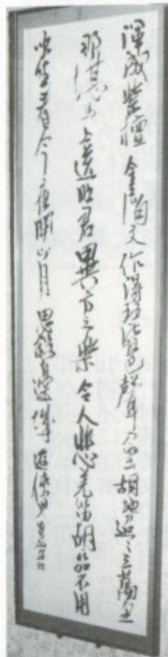
これは、五月に所蔵していた津軽十二代藩主承昭公着用の甲冑、紺糸威最上胴具足と岩木山神社三尊仏を市へ寄贈したことによるもので、十二月二十八日、市長公室において佐々木市長から伝達されました。



善意の花かこ

—どうもありがとうございます

- ◎五所川原市美術館建設促進期成会へ
 - 五所川原ロータリークラブ（山内正孝会長）|| 十万円。
 - ◎（財）五所川原市教育振興会へ
 - 小田桐利信さん（野里宇野岸三ー一）|| 十万円。
- ◎五所川原小学校へ
 - 柳澤精太郎さん（東京都豊島区巢鴨五ー三四ー二八）|| 十五万円（児童図書購入費として）。
- ◎梅泉小学校へ
 - 梅泉小学校校長 山中弘行さん（金木町字芦野八四ー四四二）|| 石油ストーブ一台。
- ◎養護老人ホームくるみ園へ
 - 日本たばこ産業株式会社弘前営業所 || 寄贈（たばこ〈マイルドセブン〉七十五個）。
- ◎五所川原市社会福祉協議会（代）第一支部長 成田善造さん || 慰問（金太豆蔵劇、寄贈（両松、ゲーム機）。
- さくら保育園（大沢公至園長） || 慰問（年長組園児七十三名による劇とお遊戯）。
- （株）五所川原中央青果（木村登吉代表取締役社長） || 寄贈（十四kg入りバナナ三箱、Lサイズぶどう二箱）。
- 五所川原保育園（戸田巖園長） || 慰問（年長組園児十六名によるお遊戯と歌）、寄贈（小ケーキ）。
- ◎五所川原市社会福祉協議会へ
 - 五所川原市食生活改善推進委員会（三森敬子会長） || 一万二千元。
- ◎梅沢コミュニティセンターへ
 - 佐藤豊仙さん（蓮沼一九） || 寄贈（縦2.4m×横0.6mの書）



元旦に

名刺交換会

一月一日に行われた平成八年新年名刺交換会では、参加者が一丸となって市の発展に尽力することを誓い合いました。



店頭で

餅つき大会



市内の商店街は、一月二日から初売りとなり、各店で盛り沢山のイベントが行われ、昨年を上回る人出で賑わいました。

楠美家と殖産文書

近世部会 豊島勝蔵

市史編纂室から旧飯詰組高野村楠美家の近世文書が届けられた。

板高教諭だった故楠美良三氏は、私とは青師の同期以来竹馬の友であった。彼も楠美家の後裔であった。

この度、図らずも楠美家の古文書の一部を皆様にご紹介する運びとなったことは、故人の奇しき因縁と深く感ずると共に少なからぬ光栄を覚えるものである。

同家古文書

与えられた古文書は次の通りである。

- (一) 由緒に関するもの
- (1) 天保七年六月、狐森村楠美鉄三郎書上帳
- (2) 文政六年六月、高野村楠美弥九郎「勤中御賞并代々郷土御申渡留」
- (3) 天保七年十月、同弥九郎由緒書上帳および下書の二通
- (4) 天保十四年十二月二十六日、同勇助書上帳

- (5) 明治五年三月、同勇助書上帳
- (6) 明治二十四年四月、同兵太郎「高野村楠美勇助系図略」
- (7) 他に一族系図

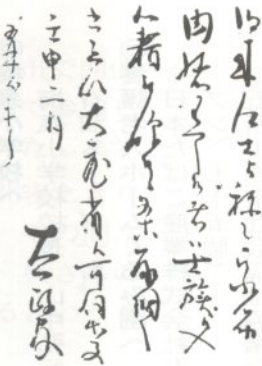
- (一) 殖産に関するもの
- (1) 「漆木楮植付方仕様」天保二年十月、但同年十二月書写
- (2) 「無題」、養蚕教授書、年代不詳

楠美家のルーツ

紙幅の関係上、楠美家の系譜を詳細に述べることは避けるが、如上の資料から総括的にご紹介する。(5)の高野村楠美家第六代楠美勇助が青森県庁五所川原出張所へ提出した「由緒書」を中心に述べることにしたい。

話がそれるが、この由緒書は、政府の「太政官」から「旧来郷土と称シ家筋由緒有之候者ハ土族江入籍被仰付候条、取調べ書を以大蔵省江可伺出事」と壬申(明治五年)二月に発せられた命令によって提出したものである。戸籍簿作成のために「戸籍区」が設置され、高野村は第三

十六区に編入されている。おそらく「壬申戸籍簿」には「土族」と記入されていると思う。森田村下原文書では、「祖先以来高野村普代ノ農ニ有之所、元弘前藩ヨリ勤農ノ故ヲ以、郷土被申付、相続罷有候」と五所川原出張所から本庁に報告されている。



太政官からの通達文書

ところで、遠い先祖は歴とした武家であったらしい。(1)の赤田組狐森村(現板柳町大字)楠美鉄三郎書上由緒書によると、大浦為則(為信養父)の家臣百沢則満を先祖とし、その五代長兵衛則定が楠美姓を名乗り、狐森村へ引越し、田畑を開発した

とある。更に長兵衛の二男藤三郎が宝永年中に同村へ別宅し田畑開発に従事した。このご仁が高野村楠美家の先祖とされている。歴とした武家の血統である。

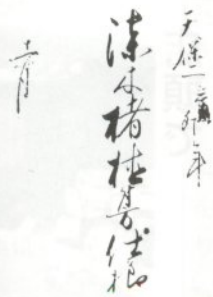
代々郷土弥九郎

二代彦作、三代七郎右衛門も田畑開発に専念したが、安永年中七郎右衛門が狐森村の家屋敷や田畑とも売払って高野村へ引越しが許可され、高野村の開発に当たる。特に四代弥九郎が相続し、寛政五年三月十五日に先祖以来の田畑開発の功績が認められ、並合の御擬作を頂戴し、飯詰俵元両組の代官手代に抜擢され、荒田開発、両組取締り方実貞廉潔、御検見方案内役、冥加金上納、組下農耕教授等数々の手腕実績が高く評価されて代々郷土に取立てられたのが文政五年であった。楠美家中興の祖というべきであった。

殖産文書との関係

前掲「漆木楮植付方仕様」および「養蚕教授書」を書写したお方は「弥九郎」か、その子息五代「馬之丞」か判然としないが、文化四年七月十二日に馬之丞が「漆守」に任ぜられ、文化

十年「飯詰組仮手代」に、同十三年「飯詰組本手代兼漆守」、文政八年十二月二十日「並郷土手代是迄之通」等に、また天保十二年九月「親弥九郎跡式手代并漆守兼代々郷土」が認めされている点、「藩日記」天保四年十月十七日条で、「当養蚕方格別出精相勤候旨」で御賞されている等から勘案して馬之丞の可能性が強い。六代勇助も馬之丞跡式漆守兼代々郷土に取立てられ、殖産振興のために尽力している。



「漆木楮植付方仕様」の表紙

漆の実は蠟燭、水漆は塗物の原料、また楮は紙の原料として重要視されていた。養蚕業も元禄以来各藩公の力をそそいだ産業であった。特に「漆の儀八田畑二続キ御国産ノ第一ニテ候」と称され、天保年間の大凶作後の藩財政立直しに栽培奨励がなされ、それに貢献した百姓が苗字帯刀を許され続出して郷土に取立てられている。その基礎を築いたのが楠美家となろうか。

寒い冬 水道管の凍結にご注意!

市水道事業所

▷水抜栓・不凍栓を備え付けの場合

長い間家を空けるようなときや就寝前には必ず水抜栓・不凍栓のハンドルをしっかり、止まるまで閉め、蛇口を一杯に開いてください。

▷電熱ヒーター利用の場合

ネズミの害を防ぐため、立ち上がり部分をボックスで囲むようにしてください。

▷むき出しの管や、屋外に蛇口がある場合

蛇口や水道管の立ち上がりなどの露出部分に、保温材(毛布類・コモ等)を巻きつけるようにしてください。

もしも凍らせてしまったら

▷軽い凍結の修理の仕方

凍結したときは、露出している管(保温筒などは取りはずす)や、蛇口などに



タオルかぞうきを巻きつけ、その上からお湯をゆっくりかけると、軽い凍結ですと水が出るようになります。

▶注意! ◀

直接熱湯をかけたり、直火を当てたり、また電気を直接流す解氷などは、蛇口の破裂や火災の危険があります。

それでも解けないときは、市指定水道工事店にお申し込みください。

※凍結防止の放水はやめてください。

凍結防止のため水を出しっぱなしにすると、メーターが次第に上がり、春の検針精算の際、料金にハネ返り、思わぬ支出となります。

お知らせ

平成8年度 市指定水道工事業者申請受付

市水道事業所では、平成8年度に市水道事業所が指定する水道工事業者の申請を受け付けますので、手続きをしてください。

▷受付期間 2月1日から2月15日まで

▷受付場所 市水道事業所(不魚住61番地1)

▷提出書類

①水道工事業者指定申請書

②添付書類

(ア)建設業法第3条の規定による許可証明書

(イ)経営事項審査申請書(写)

(ウ)工事経歴書及び実績証明書

(エ)申請者(法人の場合はその代表者)の履歴書及び身分証明書

(オ)法人は、その定款及び登記簿謄本

(カ)国税及び地方税を完納したことを証明する書類

(キ)配管工事に必要な機械器具保有調書

(ク)責任技術者及び配管技士承認申請書

※資格要件等詳しいことは、市水道事業所

(☎34-9111番)へお問い合わせください。

第9回 スポーツ医事相談室開設

スポーツ選手や愛好者で、スポーツ障害や健康管理についてスポーツドクターの指導助言を受けたい方のために、次のとおり、第9回スポーツ医事相談室を開設しますのでお気軽にご利用ください。

▷日時 1月18日・25日(木)

2月1日(木)

午後3時～5時

▷場所 市保健センター(市働く婦人の家)

▷主催 市教育委員会、市体育協会

北五医師会

▷主管 市教育委員会

▷申し込み先 市教育委員会生涯スポーツ課

☎35-2111 内線570

▷申し込み締め切り 平成8年1月16日(火)

▷その他 1)相談料は無料です。

2)事務局に申し込み用紙がありますので記入のうえ、提出してください。

〔土から土へのリサイクル〕

コンポスター

〈生ゴミ処理容器〉

斡旋の

お知らせ



★規格

内容量／190ℓ
重量／4.2kg
外寸／720φ×710(高さ)mm

★斡旋価格

6,000円
発酵促進脱臭剤 1kg 1コ
生活害虫駆除剤 120g 2コ) 付き

★申し込み方法

3月29日(金)までに、電話又は来庁にて申し込みください。

★申し込み先

市保健環境課 環境係
☎35-2111 (内線 231・233)

※品物の引き渡しについては、4月下旬に現金交換の予定です。

国民年金コーナー

源泉徴収票が交付されます

老齢年金は、税法の上では雑所得とされ所得税の対象とされます。

年金を受給している方に社会保険庁から、「公的年金等の源泉徴収票」が1月31日までに交付されます。確定申告などのときに添付して提出しなければなりませんので、大切に保管してください。

日曜日 特別納税相談日

“どうぞご利用ください”

収納課では、平日に納税相談ができない方のために「日曜日特別納税相談日」を開設します。

またいつでも気軽に納税相談できますので、収納課までおいでください。

- ▶日時 平成8年1月28日(日)
午前9時から午後4時まで
- ▶場所 市役所収納課(3階)
- ▶連絡先 ☎内線433、434、435、436

五所川原市役所 ☎35-2111

「今すぐ役に立つ

平成8年版

県民手帳 頒布中



～はずして使える
ポケット統計付き!～

◆カバーの色 緑

◆規格 14.5cm×8.0cm

◆刊行 平成7年11月

◆頒価 450円

◆主な内容

- 五所川原市略年表
- カレンダー・過去5年間の天気
- 都道府県・市町村別の最新統計
- 行政機関、国会・県議会議員、教育施設、文化体育施設などの名簿
- 年齢早見表、宿泊施設、単位換算表など

◆ご希望の方は、市役所 ☎内線 462

企画調整課 統計係まで

平成7年度

移動消費生活センターの開催

県消費生活センターでは、下記により平成7年度移動消費生活センターを開催することになりました。関心のある方、興味のある方のご来場をお待ちしております。

- ▶日時 平成8年1月30日(火)
午後1時30分～3時30分
- ▶場所 働く婦人の家 3階ホール
- ▶講義名 悪質商法のいろいろ
- ▶主催 青森県消費生活センター
- ▶問い合わせ先 市産業経済部商工振興課(内線381)

市税完納街頭キャンペーン

「市税の納め忘れありませんか!!」

12月20日(水)中三デパート前からイトーヨーカドーマルキまで、市役所収納課、国保年金課、税務課合同の市税完納街頭キャンペーンを実施しました。

佐々木市長、収入役、市納貯連役員、国保連協会長、市職員等50名が市民一人ひとりに市税完納を呼びかけました。



テープ持参のこと。

※期間中会場に大型ガマ、虫の雪像、すべり台を設置。(天候により変更があります)イルミネーション点灯。

※申し込み、問い合わせ先

△五所川原市産業経済部観光物産課内

☎0173(35)2111 内線(392)

△Jリーグ“これがシュートだ”

市子連会長 蝦名 ☎34-6460

※申し込み締め切り 1月26日(金)

『思い出の曲を…に♪』

～ふるさと交流ホールは、
貴方のリスニングルーム～

皆さん、ふるさと交流圏民センターのふるさと交流ホールが、東北でも最高の音響設備を持ち、音質も高レベルのホールであることをご存じですか？この度、このホールでリスニング・ティーパーティー開催を計画しています。題して「思い出の曲を……に！」

母に捧げるあの曲、恋人とのあの曲など皆さんの思い出の曲をどんどんご応募ください。パーソナリティーと思い出を語り合い、曲に合わせた映像、照明を使い素敵なひとときを楽しみたいと思います。

◎開催日時 8年3月9日(土)

午後2時～4時

◎応募先 オルテンシア(ふるさと交流圏民センター) ☎33-2111

◎要項 [1] 曲、歌のCD又はテープ
[2] 思い出のコメント

◎締め切り 8年1月末日

応募多数の際は抽選とさせていただきます。

“郷土料理をたべて「虫人形」 づくりを体験しよう!!”

五所川原商工会議所では、下記の日程で、親子のスキンシップが図られることを目的に「虫人形」づくり体験教室を開催することになりました。当日は津軽伝統「金太・豆蔵」も上演されますので、多数ご参加ください。

◆期間 平成8年2月4日(日)

午前9時～2時30分

◆場所 五所川原中央公民館

◆申し込み先 五所川原商工会議所 ☎35-2121

◆参加料 無料

7 平成8年1月15日

ただいま募集しています
家族でふるって参加しませんか!!

ごしょがわら冬フェスティバル

(社)五所川原市観光協会

●2月10日(土)菊ヶ丘水郷公園

◎Jリーグ“これがシュートだ”

13:00～

☆チーム 1チーム5名

☆参加資格 小学1年から、中学校、育成者の男女であればよい。(但し、1チームの中に育成者1名いること。)

☆表彰 上位入賞者賞状、賞品
全員に参加賞

◎小正月もちつき大会

15:00～

☆会場内にてもちつきの実演

☆おしるこのサービス

◎小正月どんど焼

17:30～

☆会場内に雪で高さ1.5m程度の釜戸を作成して、正月の門松、しめ飾り等を燃やし新年を祝い、五穀豊饒、家内安全を祈願する。

☆当日会場へ、門松、しめ飾り、お札等を持参ください。

◎ミニガマ(かまくら)コンテスト

☆参加資格 会社及び団体を対象

☆賞品 賞金(1位3万円)、賞品多数用意

☆製作期間 2月5日から10日

16:00製作締め切り 1団体10個製作

☆審査 16:00

☆表彰 18:00

上位入賞者賞状、賞品、全団体に参加賞

◎開会式

18:00～

◎親子探検宝探し大会

18:30～

☆参加資格 親子(2名)

☆賞品 豪華賞品多数用意

☆受付 当日17:30から会場で受付
(先着100組)懐中電灯持参

●2月11日(日)

◎五所川原歌謡・民謡・手踊り王座決定戦

10:00～ オルテンシア(ふるさと交流圏民センター)

☆種目 歌謡の部・民謡の部・手踊りの部(一般・少年個人・団体)

☆参加資格 とくに資格は問わないが、手踊り少年の部は中学生以下とする。

☆歌謡の部は、カラオケとする。出演者は、

平成8年度 弘前高校通信制 生徒募集

～「学べる自由」を求めて

通信制に来て見ませんか。～

県立弘前高校では、平成8年度の通信制課程への入学生を募集しています。

募集定員は、男女あわせて300名です。

教科書と学習書をもとに、自宅とスクーリング（昼間、日曜日または水曜日）で学習しながらレポートを作成し、規定の単位を修得しますと、3年以上で高等学校卒業の資格が得られます。

年齢や職業に関係なく、どなたでも学べますのでいろいろな立場の方がたくさんおり、それぞれ勉学にスポーツに一生懸命取り組んでおります。

また、これまで在籍した高校（全日制、定時制とも）で取得した単位を生かして、該当する学年へ転入・編入することもできます。

さらには、希望する科目だけを履修する「科目受講」の制度もあります。

入学願書、入学案内をご希望の方は、130円切手を同封し下記へ請求してください。返信用封筒は不要です。

◆入学願書の提出期限は

平成8年3月1日～4月5日です。

ご不明の点や、学習の仕方など詳しいことをお知りになりたい方は、下記へお問い合わせください。

☎036 弘前市新寺町1番地1号

青森県立弘前高等学校 通信制

☎(0172) 32-9424

働く婦人の家 生活講座受講生募集

◇和装のマナー教室

～ご入学・ご卒業時の
装いとマナーを学ぶ～

- ▶日時 2月6日、13日
20日（毎週火曜日）
10：00～12：00、
18：30～20：30

▶講師 鶴谷公美子先生

▶募集人数 20名

▶受講資格 市内に住所又は職場を有する方

▶受講料 無料

▶持参するもの 着付けに必要な物一式

▶申し込み・問い合わせ 五所川原市新町

働く婦人の家 ☎35-8898



募 集

平成8年度

奨学生募集

財団法人 五所川原市教育振興会

（財）五所川原市教育振興会では、次の要領により平成8年度の奨学生の募集を行います。

希望する方は、在学学校または出身校を経由し市教育委員会総務課へお申し込みください。

▶募集期間 平成8年1月16日から平成8年2月16日まで

▶応募資格 次のすべてに該当する人としません。

- ①平成8年4月に高等学校または大学等に入学志望の人。
- ②五所川原市内に在住している人。
- ③人物、学業ともに優秀で、かつ健康であるが、学費の支弁が著しく困難と認められる人。
- ④過去3年間、全教科の平均成績が3.5点（5段階評価）以上の人。

▶貸与金額 [高等学校] 公立、私立ともに
入学金及び授業料相当額（ただし月額15,000円を超える授業料については、15,000円を限度とする。）とする。

[大学等] 公立、私立ともに入学支度金として60万円を限度とする。（原則として各種学校、専門学校は認めない。）

▶返還方法 [高等学校] 奨学金の貸与が終了した月の翌日から起算して1年を経過した後、奨学金を受けた期間の倍の期間以内に返還する。

[大学等] 卒業の翌月から6ヵ月経過後、8年間以内に返還する。

※返還金額には利息を付さないものとする。

●詳細は、財団法人五所川原市教育振興会事務局（市教育委員会総務課）☎35-2111（内線552）へお問い合わせください。

交通安全は家庭から

交通事故概況

（平成7年12月26日現在）

	五所川原市交通安全対策協議会	
	県内	五所川原市管内
発 生	8,322 (+216)	320 (-28)
死 者	137 (+1)	6 (+1)
傷 者	9,991 (+135)	376 (-27)

()内は前年対比

見てるだろう 止まるだろう 人に頼るな自分の安全

あなたの声を県政に!

県政モニター募集

県では、県政について「こうしたらどうか!」「こういうことをやって欲しい!」というご意見・ご提言を寄せてくださる県政モニターを募集しています。

県政に関心のある方、県政に協力する熱意のある方の応募をお待ちしています。

◎**応募資格** 県内に居住している満20歳以上の方であれば、どなたでも可。

ただし、議員・公務員・行政相談委員、国やその他の公共団体のモニターになっている方や今後なる予定の方、平成3年度以降に県政モニターを経験した方は除きます。

◎**募集人員** 32名

◎**委嘱期間** 平成8年5月1日からおよそ2年間

- ◎**仕事**
- ①アンケートに対する回答 (年4回)
 - ②県政に対する意見や提言の提出 (随時)
 - ③県政モニター会議への出席 (年1回)

◎**謝礼** 1年ごとに記念品を差し上げます。

◎**応募方法** 官製はがきに、必要事項を記入して、平成8年2月16日(金)までにお送りください。

[オモテ] [ウラ]

50	030-70	①住所
県政モニター係	青森市長島1丁目1-1	②氏名(ふりがな)
		③性別
		④生年月日
		⑤職業
		⑥電話番号
		⑦希望する理由
		⑧各種モニターの経験

◎**結果通知** 応募者の中から地域・職業などの割合を考慮して決定し、3月末に応募者に対し結果を通知します。

問い合わせ先

青森県 広報広聴課 広聴班
県政モニター係
〒030-70 青森市長島1丁目1-1
☎0177-22-1111 内線2208

平成8年 五所川原市 合同除厄祈願祭 参加者募集

▷対象者

(男) 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれの方

(女) 昭和39年4月2日～昭和40年4月1日生まれの方

▷と き 平成8年2月11日(日) 13時より

▷と ころ 市中央公民館

▷会 費 (男) 11,000円

(女) 10,000円

(祈願だけの方は、男女とも6,000円です)

▷**申し込み方法** 事務局まで直接電話するか、郵送されたハガキで申し込んでください。尚、会費の振込依頼書も合わせて発送致しますので、指定銀行口座に振り込み願います。(案内の無い方、市外の方でも希望される方は、下記まで申し込んでください。)

▷**申し込み期限** 平成8年1月31日(水)まで

▷**申し込み先** 市役所 (☎35-2111)

下水道課 (内線 313) 小田桐 浩
建築住宅課 (内線 332) 対馬 隆博

「活彩あおもり」にふさわしい 活動・行動を募集します

◆青森県の誇れる多彩な資源を活かして、楽しいこと、面白いこと、話題になることに取り組んでいるみなさんの活動・行動を200字程度で記載し応募してください。

◆スポーツ、イベント、地域づくり、産業おこし、ボランティアなど分野は問いません。

- ◆**賞** ・活彩あおもりイメージアップ大賞
1点 賞状と20万円相当の副賞
- ・活彩あおもり推進賞
5点 賞状と5万円相当の副賞
- ・そのほか応募者全員に記念品(活彩グッズ)を差し上げます。

※ みなさんの活動・行動を200字程度で具体的に記載し、住所・氏名(団体名)・年齢・電話番号を記入のうえ郵送またはファックスで下記にお送りください。(平成8年1月末日締め切り)

〒030 青森市長島1丁目1-1 県庁
「活彩あおもり」係

TEL 0177-22-1111 (内線2152番)

FAX 0177-23-5826

五所川原市役所 ☎35-2111



「夫唱婦随いきいき人生」



傅法谷 睦 さん(60歳)
ミチ さん(54歳)

市内不魚住6-7

今回は、健康づくりを目的に市で開催した「ウォークスイミング」に夫婦で参加して下さった傅法谷夫妻をご紹介します。

睦さんのお母さんは、7年間寝たきりで、10年前に亡くなったそうです。その間、一生懸命介護してくださったのが、奥さんのミチさんです。とても感謝しているということです。

ミチさんはお母さんの介護をきっかけに、家庭介護教室などに通われて、老人介護の知識と技術を習得し、お世話になった老人ホームや社会福祉協議会等でお年寄りの入浴などのお手伝いをしているそうです。

睦さんは体力に自信があることから、健康について深く考えたこともなかったそうです。それでも、奥さんからの熱心な誘いで、市の集団健診を受けてみることにしました。

一度受けてみると今までの面倒くさい気持ちも一転して消え去り、その後は「ウォークスイミング」や「結果相談会」などにも積極的に2人で参加するようになりました。

「ウォークスイミング」では女性の参加者が多く、戸惑いもあったそうですが、これも健康のためと割り切ることにして、今後は生活に健康づくりという目標を掲げ、同世代で仲間になる方を捜していきたいそうです。

定年後を第二の人生と考えて、積極性、好奇心、チャレンジ精神をもって現在も二人三脚で歩み続ける仲睦まじいご夫婦でした。

文集がはじまった昭和45年は、日本が高度成長の真っただ中にあり、万国博覧会の開催、新幹線の整備など日本中で道路やビルが建設され、当市からも建設工事やサービス業の下支えとして多くの人達が出稼ぎに行きました。

この文集は子供たちのそばを離れて家族の生活を守るため、遠くで働くお父さんやお母さん、おじいさんにあてた手紙で構成されています。どの作品も「体に気をつけてください」、「一生懸命がんばってください」、「早く帰ってください」というような父や母、祖父への心配りと励ましの言葉で綴られています。

今回は222編の中から2編を紹介します。

おとうさんへ

— 沖飯詰小学校1年 こがわえり —

おとうさん、おげんきですか。

えりは、せきが出ているけど、げんきです。そっちはあついですか。

おとうさんがいないから、えりはさびしいです。

でも、えりはおかあさんやおとうとのまさかずがいるけど、おとうさんはひとりなのできつともっとさびしいとおもいます。

おとうさん、かぜをひかないで、おしごとがんばってね。

えりは、おとうさんがかえってくるのを、たのしみにまっています。

私のお父さん

— 五所川原第一中学校1年 葛西 慶子 —

お父さんは、私が小学校3年生のころに千葉に出かせぎに行きました。出かせぎというより、千葉に住み込みで、働いているようなものだと思います。帰ってくるのは、夏休みや正月など、休みの日が続く時です。帰ってくるときは、たいてい電車やバスなどなので、家族でどこかに行くことなどはほとんどありません。

私の小さいときは、家族で仙台や函館などに旅行に行きました。この間そのときの写真を見て、なんだかすごく昔の私達が恋しくなりました。昔のように、家族で旅行に行きたいな、と思いました。いつになったら私の願いは、叶うのかな？早く叶うといいな。



すくすく健診

- ▶場所 働く婦人の家・市保健センター
- ▶受付時間 12時30分から12時45分
- ▶持参するもの 母子健康手帳、バスタオル
 - ◎3歳児には個人通知します。
 - ◎3歳児健診の場合は同封のアンケートを記入しお持ちください。尿検査がありますので、尿を小ビンに入れて持ってくるると便利です。

※お願い ①4ヵ月児健診に來れなかった方は、神経芽細胞腫（小児がん）の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健環境課窓口にもらいにきてください。
 ②病氣療養中（特に伝染性の病氣）の子どもさんはご遠慮ください。病氣療養中や体調のよくない子どもさんは翌月の健診を受けることができますのでご連絡ください。
 ③不明な点は、保健環境課にお問い合わせください。

身も心もさっぱりする 健康相談室へどうぞ

保健婦が相談に応じています

- ▶対象 市内にお住まいの方で、ご自身又はご家族の健康のことで心配されている方
- ▶内容 血圧相談、病氣の相談、心の相談、健康についての話
- ▶持参するもの 健康手帳（お持ちの方）

開催場所	開催月日	開催時間	はなしのテーマと時間
南新集会所	1月25日 (木)	12:30~ 13:30	1・2・3!! シェイプアップ (13:10~13:30)
七和農協	1月26日 (金)	11:00~ 13:00	心に栄養をつけるスト レスコントロール法 (12:00~12:30)
中崎 保健協力員 成田啓子宅	1月26日 (金)	10:30~ 12:00	おなかすっきりさせま しょう~便通異常の解決策~ (11:30~12:00)
新宮集会所	1月29日 (月)	13:00~ 15:00	1・2・3!! シェイプアップ (14:30~15:00)
コミュニ ティセン ター 長橋	1月29日 (月)	13:00~ 14:30	おなかすっきりさせま しょう~便通異常の解決策~ (14:00~14:30)
高野文化 センター	1月30日 (火)	10:30~ 12:30	1・2・3!! シェイプアップ (10:30~11:00)

2月の保健センター相談日

毎日の生活の中で、育児・健康面でお悩みの方、保健婦・看護婦・栄養士がお待ちし、ゆったりとした気分で相談が受けられます。

種別	開設日	内容
母と子の 相談日	第1・第3(水) 2月7日・21日 10:00~12:00 13:00~15:00 (第3の午後は 予約相談です)	乳児・幼児の発 達相談、育児の 相談、お母さん の悩みごと相談 など
成人の 相談日	第2・第4(水) 2月14日・28日 10:00~12:00 13:00~15:00 (第4の午後は 予約相談です)	血圧の相談、食 事の相談、心身 でご心配なこと など

※予約相談は随時、電話で受け付けします。

月 齢	対象児	期 日	主 要 内 容
4ヵ月児	平成7年 9月生まれ	2月13日 (火)	小児科診察、神経 芽細胞腫セット配布 育児情報交換等
6ヵ月児	平成7年 7月生まれ	2月20日 (火)	離乳食の試食 発達相談等 保護者(母)と子の 歯科診察及び歯科 保健指導
1歳児	平成7年 1月生まれ	2月26日 (月)	育児情報交換 発達相談等
1歳 6ヵ月児	平成6年 8月生まれ	2月27日 (火)	小児科・歯科診察 歯科保健指導 発達相談等
3歳児	平成4年 8月生まれ	2月15日 (木)	小児科・歯科診察 尿検査、視聴覚検 査、発達相談等

※乳幼児の発達や育児、悩みごとは、保健センター“母と子の相談日(第1・3水曜日)”もご利用ください。

献血のご案内

献血にご協力いただいた方には、健康管理に役立つ血液検査サービスを行っています。その結果は約2週間後に親展にてお送りいたします。

期 日	時 間	場 所
1月23日 (火)	9:30~ 15:00	青森県立五所川原 工業高等学校玄関前

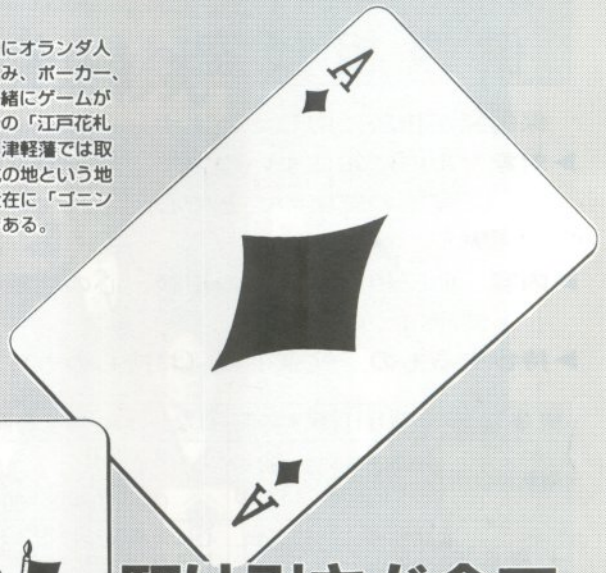


第2回ゴニカンランプ世界選手権大会

■期日／平成8年1月21日(日)
開会式9:00・競技10:00～17:00
■場所／五所川原市民体育館

名誉大会長 山内 溥 (任天堂 社長)
名誉副大会長 吉 幾三・小山内有義 (五所川原市 助役)
大会長 川村恒儀 (五所川原商工会議所 会頭)

ゴニカンは、江戸時代の長崎にオランダ人を経由してイギリス人が持ち込み、ポーカー、ブリッジ、ナポレオンなどと一緒にゲームが行われていた。藩政末期に幕府の「江戸花札カルタ禁止令」が出されたが、津軽藩では取り締まりをゆるめた結果、最北の地という地理的条件も幸いして五所川原近在に「ゴニカン」のルールが残ったのである。

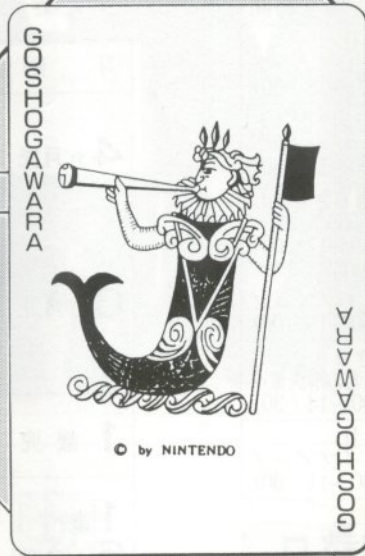


読みと

10枚

駆け引きが全て。

の運。



■問い合わせ先／五所川原商工会議所
TEL0173(35)2121 FAX0173(35)2124

■後援／任天堂(株)、(財)青森県国際交流協会、青森職業能力開発短期大学校

■主催／五所川原商工会議所 ■主管／五所川原商工会議所青年部 ■協賛／五所川原市、RAB青森放送、ATV青森テレビ、ABA朝日放送、東奥日報社、陸奥新報社、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、青森銀行、みちのく銀行、津軽信用金庫、東奥信用金庫、青森県信用組合、(社)青森県建築士会北五支部、西北五地区経済促進協議会